

津山広域都市計画伝統的建造物群保存地区の決定（原案）

（津山市決定）

都市計画城西伝統的建造物群保存地区を次のように決定する。

名 称	面 積	備 考
城西伝統的建造物群保存地区	約 12.0ha	津山市伝統的建造物群保存地区 保存条例

「位置及び区域は計画図表示のとおり」

理 由

津山市の中心市街地である旧津山城下町は江戸時代に建設され、史跡津山城跡を中心として東西に残る武家屋敷・町家・寺社等が歴史的景観を形成している。

城跡西側の城西地区は、江戸時代の地割を基に近代の鉄道開通により発展した地区であり、近代以降の特徴ある建造物が残るとともに、江戸時代からの伝統を受け継ぐ寺社の構えや堂宇・社殿も数多く残っている地区である。

これらの伝統的建造物群及びこれと一体をなしてその価値を形成している環境を保存するため、当該地区を伝統的建造物群保存地区に定めるものである。